



## 税金の上に俺らは立っている

大田区立蒲田中学校 三年 三浦 拳

税金は、私たちが日々の生活を営む中で見過ごされがちな存在です。ですが、税は様々な場面で活用され、私たちの生活に欠かせない存在です。税金という言葉の裏には、私たちが共有している社会の価値や、つながりが隠されていることについて考えました。

税金は公共サービスの基盤です。私たちが毎日使っている道路や交通機関、教育や医療などは、すべて税金で成り立っています。これらはただれか一人が頑張れば作り上げることができるようなものではありませんが、税金を通してみんなが負担することによって、「公共の福祉」を作り上げることができます。税金があるからこそ、私たちは教育を受け、病気のときに治療を受け、大きく言えば、社会の秩序が保たれるのです。これらより、税金は我々が生活するための土台と言えます。

また、税金は平等な機会を提供するための仕組みでもあります。税金は所得が多い人からは多く、少ない人からは少なく徴収されるという特徴があり、これで社会全体のバランスを保っており、全ての人が同じタイミングからスタートする機会を得られるようにすることを目指しています。例えば、公共の教育機関はどんな子どもにも開かれており、誰もが平等

に学ぶ機会を持つことが可能です。このように、税金は土台以外にも、人々が平等ということを知れる機会を持つための重要なツールともなっています。

さらに、税金は私たちの未来を支えるためにも必要です。持続可能な社会を築くための環境の対策などの様々な活動にも税金が使われています。今だけでなく未来にとっても重要な課題の一つが再生可能エネルギーのことです。これらの問題に対応するためには、多額の投資が必要で、それを可能にするのが税金なのです。つまり、一人一人が納めている税金が、一人一人の未来を築くための投資でもあります。

税金の使い道は多いですが、その全てが私たちの生活に直結していません。そして、税金を通じて私たちは間接的に社会とつながり、他者と助け合うことも可能です。税金を理解し、適切に使われているかを見守ることは、一人の人間としての責任でもあります。税金はただ取られるものではなく、この世を生きている人としての貢献であり、私たち自身が私たちのこの社会をより良くするための手段の一つなのです。